

各地の競技場、公園で大好評。

営業を止めずに芝が補修できたら…。
そんな競技場やゴルフ場の悩みを解決する
技術。それがランナーウェイです。

■Runner-Way工法(挿芝工法)とは

ゾisianジャパンが開発したランナーウェイ工法は、栄養繁殖型の芝ランナー(ほふく芝)を、予め切り込んだ溝に直接挿し込んでいく新しい芝植付工法です。従来の撒き芝工法に比べて作業能率、植付間隔、植付けの深さ、ターフ形成、芝苗の生存率などが各段に進歩しました。補修や草種転換などあらゆるニーズに応えます。

■プレーや管理作業に支障なし。

当社の従来技術(V-way工法)では、木綿ネットと一緒に芝を植えこんでいましたが、RW工法ではネットが不要となり、プレーや管理作業への支障が全くなりしました。

■高密度植付ピッチ12.5cmを実現した案内転輪技術(特許)。

RW工法では、新開発「案内転輪技術」により植付溝の間隔が18.5cmから12.5cmに改良され、密度の高い植付が可能となりました。これにより草種の切り替えやターフ形成が早くなりました。

■サッチ除去+エアレーション(通気作業)+芝植えをたった1工程で。

表層3cmまでの土壌固結層を砕き(通気・耕起効果)、サッチをかき上げながら、暖地型芝草を挿入できるため、まさに一石三鳥。最高の費用対効果を発揮します。

ランナーウェイならこんなことができます。

密度の薄くなったティフトンのターフにティフトン芝を挿入し、補修する。

寒地型芝草へティフトン芝を挿入し、ベースをティフトン芝に変換する。

病気で弱ったスポットにティフトン芝を入れる。

ランナーウェイの施工時期について

本州におけるティフトン419(改良バムューダグラス)の施工適期は、5月下旬から7月下旬です。10月から1月までは施工できません。(沖縄は除きます。)

ランナーウェイの施工可能な地域について

ティフトン419の生育可能な温度指数100以上の地域でご利用になれます。

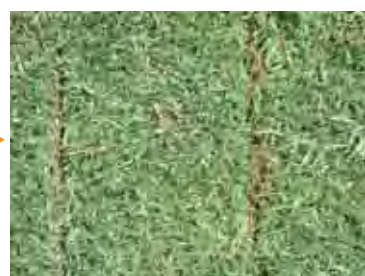
芝が薄くなったら、ランナーウェイ



施工機械



植えた跡がほとんど目立たないシャープな植え溝。これがゾisianのノウハウ。



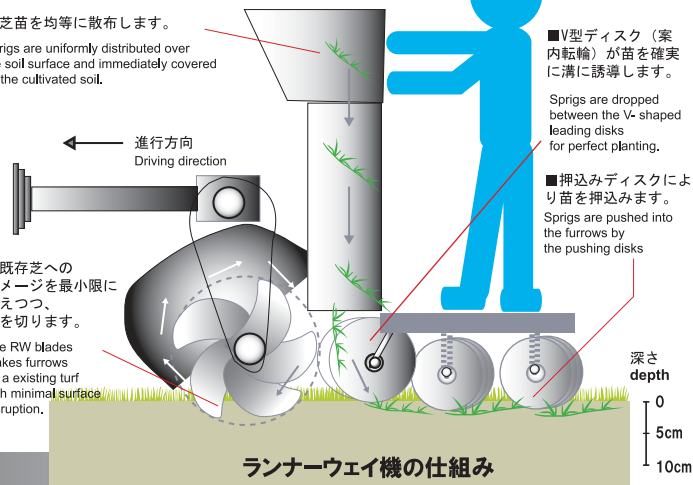
← 12.5cm →

■芝苗を均等に散布します。
Sprigs are uniformly distributed over the soil surface and immediately covered by the cultivated soil.

■V型ディスク(案内転輪)が苗を確実に溝に誘導します。
Sprigs are dropped between the V-shaped leading disks for perfect planting.

■押込みディスクにより苗を挿入します。
Sprigs are pushed into the furrows by the pushing disks

■既存芝へのダメージを最小限に抑えつつ、溝を切ります。
The RW blades makes furrows on an existing turf with minimal surface disruption.



ランナーウェイ機の仕組み

ランナーウェイ工法に関するお問い合わせは

開発元

ゾisianジャパン株式会社

〒720-1622 広島県神石郡神石高原町近田275

電話(0847) 82-2126 FAX(0847) 82-2021

E-mail:webmaster@zoysian.co.jp

http://www.zoysian.co.jp/

最新の施工実績は、ホームページから
http://www.zoysian.co.jp/